

歴史ある「土蔵白壁」の町並みを後世に伝えたい



不知火町松合地区は、江戸末期から明治中期に建てられた「土蔵白壁」が美しい町です。平成4年、傷みが激しかったこの歴史的建造物を何とか保存したいと有志14名で当会を発足。以来、土蔵白壁の整備に取り組むと共に、毎月第三日曜日に



「まつちゃ朝市」を開催。町を通る県道が国道266号に格上げになる記念に始めたもので、今年で12年目を迎えました。他にも、「まつちゃハゼ釣り大会（11年目）」、土蔵白壁の町を描く「親子スケッチ大会」等、様々な活動を続けています。

地域住民の理解と「松合の町並保存会」の協力のもと、平成9年に県で3番目の“景観形成住民協定地区”に指定され、平成14年には「美しい街並優秀賞」を受賞。今後も、この歴史的財産を後世に残せるよう、町の美化はもちろん、保存活動にも一層力を入れていきます。

